

## 活動計画 2021

### ■全体運営方針

・2020年度に生まれた活動メンバーやアクションの種を育て形にしていくために、ASJは解散ではなく活動継続を会員のみなさまに諮りたく存じます。活動継続においては、組織運営のコストを減らし、活動へリソースを集中させるための工夫が必要という認識を持っています。場合によってはNPO法人格の解消なども選択肢にいれ（ASJは元々任意団体として活動していました）、2021年度は、学生から社会人まで幅広い思いをもったメンバーと構造的な不公正の是正と持続可能な社会、参加型社会の実現にむけて動いていきたいと思いをもちます。

#### ・具体的な施策方針

組織運営のコスト減：通信サービス、ITツールなどの見直し・削減

##### 1)NPO法人格の継続有無

##### 2)事務所の縮小・移転

※2021年度全体予算は、赤字予算となっていますが、会員のみなさまからの会費・寄付で事務所の家賃と人件費以外の運営経費は回すことができる体制になっています。ご理解いただければ幸いです。

活動へのリソース集中：

1)ASJの「構造的視点で社会課題を見据える」に沿っていま立ち上げているプロジェクトに理事全員が関わる

2)ASJに関心を持った新規メンバーをプロジェクトに積極的に促していくようにアクセララボやコラボ勉強会を検討していく

3)学生は無論のこと、可処分時間が少ない社会人でも対外的にアクションをしやすくしていきけるようなアクションのフレームをつくり、定期的にアクションを行っていく

4)急激に起こっているIT活用を積極的に行っていく

#### ・組織運営

1)プロジェクトに必要な助成金や収入事業を積極的に行う。

2)有給スタッフの業務内容にプロジェクトの事務サポートを追加する。

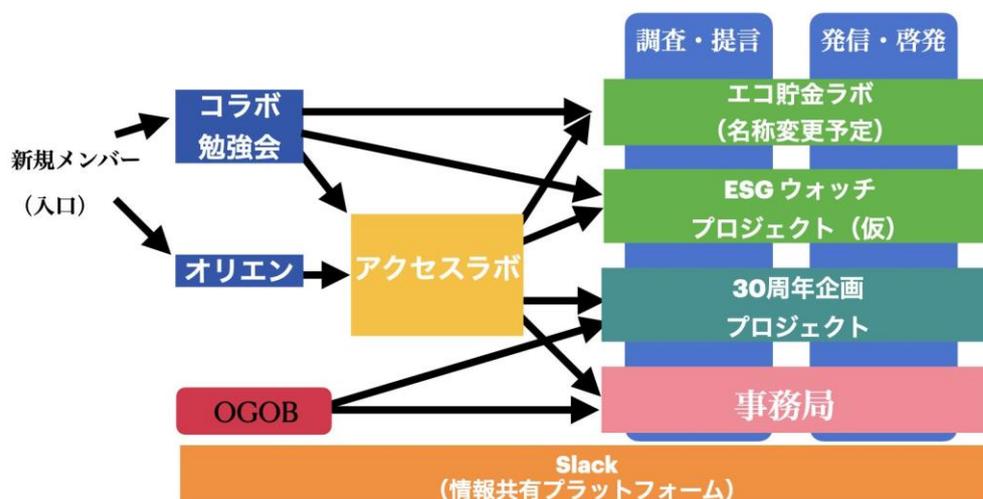
### ■組織運営の工夫

・新規メンバーの入口の場として、オリエンとコラボ勉強会を位置づけ、アクセララボでの活動を通して、自分の関心のあるテーマについて探究したり、他の活動体に参加する。

・従来のプロジェクト単位での運営を、「調査・提言」「発信・啓発」に分けて、プロジェクトを横断するかたちで、活動メンバーがプロジェクトに参画する。

<プロジェクト・キャンペーンの体制・運営図>

A SEED JAPAN 体制図案 (2021年度)



■アクセスラボ

- ・課題文献を読んで感想や内容をまとめて発表したり、他のメンバーと議論・意見交換をすることを通して、1人1人の興味・問題関心を掘り下げます。
- ・頻度は、メンバーと相談相談しながら、週1～3回に一度のペースでオンラインを基本に実施します。
- ・アクセスラボでの活動を通して、知見を深め、他のキャンペーン、プロジェクトメンバーとして活動することを目指す。
- ・扱うテーマに関連して、金融、企業、NGOの提言の実際の動向を調査して、文章にまとめて、ブログなど対外的に発信します。

■エコ貯金ラボ

持続可能な社会に向けた社会的金融文化を醸成することを目標に、下記3点に取り組みます。

① ウェブサイト作成

市民が、社会性まで目を向けて金融を利用するための情報を掲載。

- ・7月中に公開
- ・啓発を目的としたコラム連載（月1回）
- ・過去つながりのあった方々へもお知らせする（NPOバンク、オイコ、WWF等）

② Facebookアカウント作成と投稿

- ・下記に関連して、週1回程度投稿
  - ・社会問題（問題提起）

- ・資産形成（将来に備える）
- ・エコな話題（気軽な話題）
- ・フォロワー**50**名獲得

### ③ 啓発活動（プチセミナー開催・イベント登壇等）

- ・下記に関して、プチセミナー**3**カ月に**1**回開催。
  - ・お金と社会問題のつながり
  - ・資産形成の基本
  - ・社会的金融の考え方
- ※各回**5**名程度目指す
- ・イベント登壇
  - ・年度後半、明治学院大学講義担当予定

### ■ESG ウォッチプロジェクト（仮）

- ・エコ貯金ラボから派生したプロジェクト。「本当にその金融商品は ESG 投資と言えるのか？」ESG 投資ブームの中、市民目線で ESG 投資の金融商品等をウォッチし、「ESG ウォッシュ」ではないのか問いかけていく。欧州等の金融商品に対するグリーンウォッシュに関する規制等の勉強を行い、日本の現状も整理する。テーマ横断で調査提言・発信を取り組み一石を投じる。
- ・活動スタイルを「調査・提言」「発信・啓発」にあてはめ、同じテンプレートで省コストでも継続的に実施していく形を模索する。
- ・メンバーは **OGOB** 含めて現在絶賛大募集中。
- ・テーマごとにすでに取り組んでいる **NGO** やキャンペーンとの連携・協力を模索する。

### ■ASJ30 周年プロジェクト

- ・ASJ30 周年を祝うとともに、**OGOB** とのコンタクトを通じて、若者の環境活動のサポート資源となるアシードネットワークを再構築する。
- ・具体的には、**30** 周年イベント（オンラインセミナー）、記念アイテムの作成、オフライン企画とし、具体は実行委員会で検討する。

### ①30 周年イベント（連続オンラインセミナー）

1～2時間のコンパクトに複数回実施。アシードから巣立って活躍中の **OGOB** による講演&交流の場とする。

日程は、9月上旬から数か月かけて実施。ゲスト候補は、さっちゃん【岸本聡子】氏（※時差の考慮必要）、カンタさん【羽仁カンタ】氏、えぐっちゃん【江口健介】氏／こぼち【小林邦彦】氏、みっちゃん【田川道子】氏／エコ貯金メンバー 等。（候補は調整中）

目標は、アシードの **30** 年の歴史を振り返りながら社会に何らかの問題提起を行うフォー

ラムを開催し、合計で ASJ 非会員を含めて 50 人以上の参加を目指す。

### ②30 周年アイテムの作成

オンラインでの活動に活かせるもの・仲間意識を醸成するものを作る

例) 用語集／ASJ-LINE スタンプ／オンラインアイテム (壁紙、背景)

エコ DIY アイデア集／エコ貯金年表／OGOB 名鑑／30 周年収益グッズ

※具体は実行委員会で検討

### ③30 周年記念オフライン企画 (30 周年記念花火大会)

場所は要検討 (新型コロナウイルスの状況による、その場所により何が使えるか、何ができるか決まる。参加型を模索)

<スケジュール>

6 月中旬から 7 月上旬：第 1 回実行委員会を立ち上げる ※途中参加・合流も OK とする。